

## 夏休みの補習の募集!!

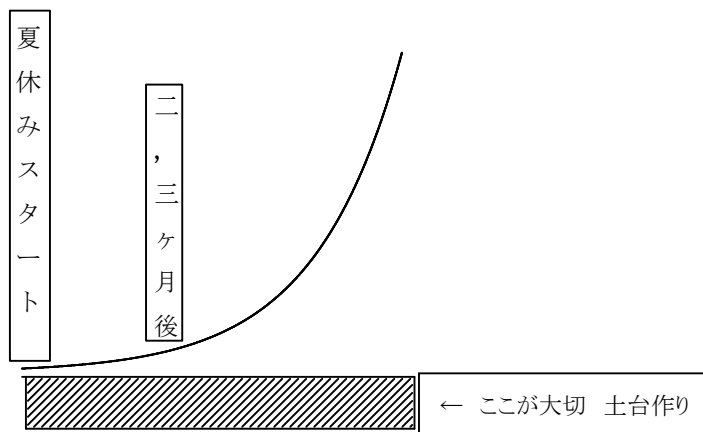
いよいよ、夏休みの補習の募集です。以前、予備調査を実施しました。その結果をもとに時間帯を決定しています。申込みの締め切りは、6月9日(金)です。しっかりと考えて、夏休みの学習を考えて決定をしてください。理想としては、自分で学習をすべて組み立てるのですが、現実問題それは無理な話です。学校の補習や、塾の補習を活用していきましょう。申し込む時のポイントは、補習の内容、レベル（特に、塾の夏期講座に参加しようとしている者は注意をする）が自分に合っているか？学校の補習は、1日50分×5時間の組み立て。一つの講座をとったら、その講座をしっかりと定着させるためには、予習・復習で前後2時間の勉強は必要になるでしょう。補習に出ればできるようになると思うのは大間違い。現実問題として、1日の学習スタイルを考えて申込んでください。

[裏面を利用してシュミレーションしてみましょう]

日程発表から2週間以上、申込むために考える時間をとってあります。担任の先生と相談をしましょう。補習の内容をもっと詳しく知りたい。何を学習したらよいかわからないならば教科の先生に相談をしましょう。

今年の夏休みは、勉強をするのが当たりまえ。受験生は皆勉強をします。勉強をしない者がどんどん追いつかれていけるだけです。だから、やった学習量が身に付くような方法を考える必要があるのです。

以前も示した学力向上曲線、基礎基本の土台が出来上がった上のスタートが圧倒的に有利です。また、夏休み一生懸命やった学習の成果は、2ヶ月後、3ヶ月後に出てきます。それだけは知っておいてください。



夏休みを前に大切なことが2つあります。1つ目は、今から基礎基本の土台作りをちゃんとやっておくことです。土台ができていないと夏休みにいくら勉強をしても学習効果が積み上がっていきません。土台ができていない者は、夏休みに他の受験生から出遅れる形になってしまいます。

中間テストが終了し、今が土台作りをするために大切であることがわかりますよね。夏休みの学習を生かすためには、ここからの1ヶ月はとっても重要な時期です。

もう1点。進学にしても就職にしても、入ることが目的ではなく、入ったあといかに自分を成長させていくかということまでを考えなければなりません。ここから夏休み終了にかけて勉強しない者が、楽な受験方式で合格することだけを考えるような最悪な受験は絶対に避けましょう。一生懸命努力した者が、自分の第一希望を実現するために、いろいろな受験方法を考え、受験する。そんな形にしてもらいたいものです。